

第1回『奥大井接岨湖まつり』の開催結果

1) 開催結果概要

開会式

日時：平成16年7月24日(土)10時00分～

10:00～

スタート

- ・ 長島ダム管理所前に集合し、長島ダム管理所長、本川根町長、推進会議議長のあいさつが行われました。
- ・ セレモニーでは地元住民の赤石太鼓による出迎えがありました。



カヌーで接岨湖をクルージング

10時30分～14時頃まで

スタッフ：栗原

<p>10:30～</p>	<p>スタート</p> <ul style="list-style-type: none">・ 長島ダムの駐車場に集合し、栗原氏より本日のスケジュールの概略説明がありました。・ その後、平田のカヌー競技場まで全員で移動し、出廷の準備をしました。	  
<p>11:00～ 13:00頃</p>	<p>クルージングスタート</p> <ul style="list-style-type: none">・ まずは長島ダムの堤体を湖面側から見学に行きました。	  

11:00~
13:00頃

沢で休憩

- ・炎天下となった当日、涼をとるために接岨湖に流れ込む沢で一休みしました。



- ・休憩後、さらに上流を目指して移動しました。途中、湖に沈んだ樹林の間を抜けるなど接岨湖ならではのコースも楽しみました。初心者は、ここら辺から腕がづらくなってきます。



昼食

- ・昼食は各自お弁当を持参しました。昼食の休憩地点には、旧井川線の廃トンネルがあり、参加者の興味を引いていました。



13:00 ~
14:00 頃

レインボブリッジ周辺で折り返し
・昼食後、残り1時間ということでレインボブリッジ周辺までさかのぼり折り返しました。



ゴール

・全員無事ゴールに到着しました。ここでプログラムは終了となり、参加者は接岨温泉に疲れを癒しに行きました。



当日のコース



平田のたるながし『いかだ』づくり

10時30分～14時頃まで

スタッフ：大石、杉山

広場	
10:30～	<p>スタート</p> <ul style="list-style-type: none">・あいさつ（大石さん）・平田のたるながしの説明がありました。平田のたるながしは、大井川の舟運の安全や豊漁、疫病退散を祈願して、いかだに乗せた「たる」を愛知県の「愛知つしま神社」まで大井川を流して奉納した伝統行事です。今は、接岨湖でたいまつを焚いた「いかだ」をボートで引っ張っています。・今まで、いかだは平田地区の氏子（7戸）で作っていました。他の地区でもたるながしの行事があったのですが、手間がかかるということで、今は行っていません。
10:30～ 12:00頃	<p>丸太の皮を剥ぐ作業</p> <ul style="list-style-type: none">・山から切り出してあった丸太（杉）の皮を「なた」できれいに剥ぐ作業を全員で行ないました。 <p>「なた」は皮剥ぎ用の長い柄がついた「なた」と手持ちサイズの「なた」があり、どちらも切れ味鋭く、作業がはかどりました。丸太は祭事に使うので、節の凹んだ所まで、ていねいに皮を剥ぎとりました。</p>



10:30~
12:00頃

- 「あまご」の竹串づくりと炭焼きの準備
- ・スタッフの大石さんが用意してくれた「あまご」を炭で焼くために、竹を割る道具で4つに竹を割り、竹串をつくりました。山村に住む人の技であつという間に竹串ができあがりました。「あまご」を竹串に刺したとき、下にずれないように節で止まるような工夫もされていました。
 - ・「あまご」の形を美しく焼き上げるため、「あまご」を竹に刺す作業も経験とコツが必要です。竹串を目から通し、背骨の硬い所を通すと、形が崩れません。
 - ・「あまご」は、いかだに使う「あけびのつる」に、オブジェのように並べられました。



昼食

- ・昼食は持参のお弁当の他、「あまご」、地元の人が獲った熊肉とヒヨドリの肉を炭で焼いて食べました。たれに漬けてあった熊肉はとても柔らかく臭みもなく、油がのって美味しく、大好評でした。地元の人も熊肉を食べるのは初めてという人が多かったです。
- ・箸がなかった人がいて、これも竹で作りました。



13:00 ~
14:00 頃

いかだを縛る「つる」をたたいて、柔らかくする作業

- ・いかだを縛る「あけびのつる」を木の棒でたたき、柔らかくしました。特に、つるの曲がった部分は柔らかくする必要がありますが、強くたたきすぎると縛るとき、切れてしまうので、力加減が難しいです。



いかだを組み、「つる」で縛る作業

- ・丸太を5本使い、いかだを組みました。いかだを「つる」で縛り、両方を二人がかりで力いっぱい引っ張り、締め上げました。縁起ものなので、結び目を作るとき、つるを上から通して結び目を作ります。(下から通すと良くない)
- ・いかだを組んだ後、丸太の両端をチェーンソーで切りそろえ、仕上げました。



麦わらで「ござ」をつくる作業

- ・昔ながらの道具を使い、麦わらで小さな「ござ」を織りました。「ござ」はいかだにお供え物を置くために使います。
- ・麦は、昔はこの地区でも作っていましたが、今は作っておらず、島田市の農家からもらっています。

完成

- ・いかだが完成しました。たる流しの当日(8月5日)は、このいかだに竹を指し、たいまつを燃やします。
- ・おみやげに乾いた松の根をいただきました。松の根は、火をおこすときなどに着火材として使います。



水源地わくわく探検ハイキング（アプト式鉄道の体験乗車）

10時30分～14時頃まで

スタッフ：山本、佐藤

<p>10:30～ 11:00</p>	<p>長島ダム管理所前出発 長島ダム - しぶき橋 - わくわく トンネル探検 - いちしろ吊り 橋</p>	
<p>11:05～ 11:30</p>	<p>中電奥泉発電所 奥泉発電所見学（25分） 産業遺産いちしろ吊り橋 発電所概要説明</p>	   

<p>11:35 ~ 12:45</p>	<p>アプトいちしろ駅(昼食) アプト式機関車連結見学 (401便 11:49着) 体験乗車 昼食(雨天は車庫内) 記念撮影 休憩</p>	   
<p>12:52 ~ 13:03</p>	<p>南アルプスアプトライン 205 便 アプト式鉄道 205 便乗車 (車内放送あり)</p>	
<p>13:10 ~ 14:10</p>	<p>長島ダム 長島ダム制御室 提体内見学(60分) ふれあい館へ移動</p>	 

閉会式

14時30分～15時頃まで

14:30

～

15:00

- ・ 長島ダムふれあい館前の広場で閉会式が行われ、推進会議議長よりあいさつがありました。
- ・ 閉会式会場には、地場産品の販売コーナーが設けられ賑わいを見せていました。また、会場周辺には、本川根町が同時開催した、親子自然体験教室の作品が展示されました。

